



SnapManager for Microsoft SQL Server から SnapCenter にアーカイブバックアップをインポートします

SnapCenter Software 4.6

NetApp
September 29, 2025

目次

SnapManager for Microsoft SQL Server から SnapCenter にアーカイブバックアップをインポートします	1
アーカイブバックアップのインポートの概要	1
インポート機能に関連する制限事項	1
アーカイブバックアップをインポートする	1
SnapCenter サーバで、インポートされたバックアップを表示します	2

SnapManager for Microsoft SQL Server から SnapCenter にアーカイブバックアップをインポートします

アーカイブバックアップのインポートの概要

SnapManager for Microsoft SQL Server から SnapCenter にデータをインポートすると、以前のバージョンのデータを引き続き使用できるようになります。SnapManager for Microsoft SQL Server から SnapCenter にインポートできるのは、SnapVault テクノロジを使用してアーカイブされたバックアップだけです。

SnapCenter では、Data ONTAP 7-Mode はサポートされていません。7-Mode Transition Tool を使用して、Data ONTAP 7-Mode を実行するシステムに格納されているデータと構成を ONTAP システムに移行できます。

インポート機能に関する制限事項

SnapManager for Microsoft SQL Server から SnapCenter にアーカイブバックアップをインポートする前に制限事項について確認しておくと、インポートを正常に完了するのに役立ちます。対象のバックアップは、SnapVault テクノロジでアーカイブされている必要があります。

- SnapCenter で SnapManager for Microsoft SQL Server を使用して作成されたクローンは管理できません。これらのクローンは、SnapManager for Microsoft SQL Server で管理する必要があります。
- バックアップのインポートは、SnapCenter のグラフィカルユーザインターフェイス（GUI）からは実行できません。
- VMDK ディスクを使用した仮想マシンからデータベースをインポートすることはできません。

アーカイブバックアップをインポートする

コマンドラインインターフェイスからインポート SnapManager できるの SnapCenter は、SnapVault テクノロジを使用してアーカイブされたバックアップだけです。

- 必要なもの *
- SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Server と SnapManager for Microsoft SQL Server 7.x の両方が同じホストにインストールされている必要があります。
- クラスタをサポートするには、プラグインと 7.x 製品の両方がクラスタの各ノードにインストールされている必要があります。
- ホストまたはクラスタを SnapCenter に追加し、ホストまたはクラスタにあるバックアップに使用できるリソースを検出しておく必要があります。
- SnapManager for Microsoft SQL Server の SnapInfo フォルダをバックアップしておく必要があります。

インポート処理に失敗した場合、SnapInfo ディレクトリのバックアップメタデータを取得できます。

- ベストプラクティス： * SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Server のログバックアップフォルダを設定することを推奨します。

SnapCenter のインストールと設定のタスクについては、 SnapCenter のインストールに関する情報を参照してください。 SnapManager for Microsoft SQL Server のインストールと設定のタスクについては、 SnapManager のインストールに関する情報を参照してください。

アーカイブバックアップを SnapManager for Microsoft SQL Server から SnapCenter にインポートすると、それらのバックアップのリストア処理やクローニング処理を SnapCenter から実行できるようになります。同時に、 SnapManager for Microsoft SQL Server を使用して、バックアップ、リストア、およびクローニングの処理を引き続き実行することもできます。

- 手順 *

1. SnapCenter で SnapManager for Microsoft SQL Server のスケジュールと同様のスケジュールを手動で作成するには、次の手順を実行します。

- a. 「 Get-SmSchedule 」コマンドレットを使用して、 SnapManager for Microsoft SQL Server からスケジュール情報を取得します。
- b. スケジュール情報を保存します。

SnapCenter でポリシーを作成するときに、このスケジュールの情報を使用できます。

c. 「 Get-SmSchedule-Hostname 」 <hostname> -PluginCode SMSQL-DisableCurrentGenSchedule 」コマンドレットを使用して、 SnapManager for Microsoft SQL Server のスケジュールを無効にします。

2. 「 Invoke-NaSmBackupMigration 」コマンドレットを使用して、アーカイブ済みのバックアップをインポートします。

たとえば、スタンドアロン SQL ホストを移行するには、「 Invoke-NaSmBackupMigration-Hostname 」 <hostname> -PluginCode SMSQL' を実行します

たとえば、クラスタホストを移行するには、「 Invoke-NaSmBackupMigration-Hostname <clustername> -PluginCode SMSQL' 」と入力します

SnapCenter サーバで、インポートされたバックアップを表示します

SnapManager for Microsoft SQL Server のアーカイブバックアップ SnapCenter をインポートすると、トポロジページにこれらのバックアップが表示されます。

- 手順 *

1. 左側のナビゲーションペインで、 * リソース * をクリックし、リストから適切なプラグインを選択します。
2. すべてのデータベースを含むリソースグループを作成します。
3. リソースグループを選択します。

4. リソースグループを保護する。
5. [トポロジ] ページの [コピーの管理] ビューで、[バックアップコピーからのバックアップ] をクリックします。

バックアップの詳細が表示されます。



アーカイブ Snapshot コピーが移行され、セカンダリ保持の一環としてストレージからクリーンアップされる場合は、SnapManager で作成された対応するプライマリ Snapshot コピーを手動でクリーンアップする必要があります。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。